

2021年8月10日

2022年3月期 第1四半期 決算説明会（電話会議）

説明者 取締役副社長CFO 宮崎純一

ディスクロージャー
2020年度 優良企業



公益社団法人
SAAJ 日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan



Nissan Chemical
CORPORATION

**Institutional
Investor**

**2021 JAPAN EXECUTIVE TEAM
MOST HONORED COMPANY**

NISSAN CHEMICAL CORPORATION

会計方針の変更(一部5月より数値変更あり)

1.方針の変更: 「収益認識に関する会計基準(企業会計基準29号)」を適用

2.適用時期: 2021年4月1日より

3.方針変更に伴うPL、BSへの主な影響:

(1) 代理人取引

(主たる適用セグメント) 化学品、農業化学品、卸売

(適用後) 売上総利益額見合の売上高のみ表示(適用前は売上高、売上原価を総額で表示)

(2021年度予想PLへの想定影響額)

売上高、売上原価がそれぞれ446億円(5月時点予想、本体23億円、卸売423億円)減少

各セグメントの売上高には影響させず、「調整額」で控除

(2) 売上高を基礎としたロイヤリティ収入

(主たる適用セグメント) 農業化学品(動物薬ロイヤリティ収入)

(適用前)(2020年度まで) MSD社*1-6月売上高見合を8月、7-12月売上高見合を翌年2月、に計上

(適用後)(2021年度より) MSD社*1-3月売上高見合を5月、4-6月売上高見合を8月、7-9月売上高見合を11月、10-12月売上高見合を翌年2月、に計上

*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門の
MSD Animal Health 社の略称

(3) 変動対価(販売時点では変動する可能性のある売上値引など)

(主たる適用セグメント) 農業化学品

(適用後) 売上期間に応じて見積もり計上(適用前は金額確定時に計上)

適用前に比べ、値引額は1Q増加(マイナス影響)、2Q減少、上期増加、下期減少、年間なし、の傾向

(2021年度BSへの想定影響額)

2021年度期首利益剰余金(BS項目)が2020年度の遡及修正で15億円減少(税効果反映後)

(適用前)(2020年度) 2019農年(2019年10月-2020年9月)の売上見合い値引きのみ計上

(適用後)(2020年度) 上記に加え、2020年10月-2021年3月の売上見合い値引き15億円追加計上

2021 1Q決算 ハイライト

1. 前年同期比

◆営業利益は、前年同期98億円に対し、119億円と21億円の増益(+21%)

－化学品は、メラミン・テピック・環境化学品の増収が大きく、増益

－機能性材料は、ディスプレイ・半導体・無機の好調により増益

－農業化学品は、減収(会計基準変更によるフルララネルのロイヤリティ計上で増収と農薬値引コスト増で減収、グレーシア・アルテア等減収)となったものの、在庫変動影響(プラス要因)により増益

－医薬品は、リバロ・ファインテックともに減収により減益

◆純利益は、前年同期76億円に対し、88億円と12億円の増益(+16%)

◆営業利益、経常利益、当期純利益は2018年1Q以来の過去最高益を更新

2. 業績予想(2021年5月発表、p4、p10、p30)比

◆営業利益は、業績予想98億円に対し、119億円と21億円の上ぶれ

－化学品は、利益予想通り

－機能性材料は、ディスプレイ・半導体・無機の好調により、利益上ぶれ

－農業化学品は、売上高下ぶれ(フルララネルは上ぶれ、ラウンドアップ・グレーシア・アルテア等が下ぶれ)も、固定費の下ぶれ、在庫変動影響(プラス要因)により、利益上ぶれ

－医薬品は、リバロ国内好調により、利益上ぶれ

◆純利益は、業績予想75億円に対し、88億円と13億円の上ぶれ

3. 業績予想は修正なし

◆2Q及び通期の業績予想は、2021年5月14日発表より変更なし

4. 自己株式取得完了(70億円、1,262千株、取得期間:5月17日～7月21日)

2021 1Q実績(1)

	2020実績	2021実績	増減	2021予想 (2021/5発表)
	1Q	1Q	1Q	1Q
売上高	493	465	-28	400
営業利益	98	119	+21	98
営業外損益	6	4	-2	4
経常利益	104	123	+19	102
特別損益	0	0	0	0
純利益 (2)	76	88	+12	75
EBITDA (3)	121	142	+21	-
EPS (円/株)	52.38	61.73	+9.35	-
売上高営業利益率	19.9%	25.5%	+5.6%	24.5%
為替レート(円/ドル)	108	110		107
原油(JCC)(ドル/bbl) (4)	31	67		55

(1) 2021実績・予想は会計方針の変更影響を含む(p2参照)

(2) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(3) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (4) 実績は財務省貿易統計ベース

2021 1Q実績

<前年同期比>

(売上高) ◆減収 -28 億円 (-6%)

(うち会計方針の変更による売上高減少-35億円)

(増収) 化学、機能性材料

(減収) 農業化学、医薬、卸売

(営業利益) ◆増益 +21 億円 (+21%)

(うち会計方針の変更による営業利益増加+12億円

:フルラネルロイヤリティ収入増・ 農薬売上値引コスト増の合計)

(増益) 化学、機能性材料、農業化学

(横ばい) 卸売

(減益) 医薬

(経常利益) ◆増益 +19 億円 (+18%)

(純利益) ◆増益 +12 億円 (+16%)

(EPS) ◆増加 +9.35 円 (+18%)

営業利益、経常利益、純利益は2018年1Q以来の過去最高益を更新

<2021/5業績予想比>

(売上高) ◆上ぶれ +65 億円

(うち会計方針の変更による売上高上ぶれ(代理人取引影響額)は55億円)

(上ぶれ) 化学、機能性材料、医薬、卸売

(下ぶれ) 農業化学

(営業利益) ◆上ぶれ +21 億円

(上ぶれ) 機能性材料、農業化学、医薬、卸売

(予想通り) 化学

(経常利益) ◆上ぶれ +21 億円

(純利益) ◆上ぶれ +13 億円

營業外損益・特別損益

(億円)

	2020実績	2021実績	2021予想 (2021/5作成)
	1Q	1Q	1Q
營業外収益	8.4	6.3	5.7
受取利息・配当金	3.1	2.7	2.5
持分法投資損益 他	5.3	3.6	3.2
營業外費用	2.3	1.9	2.0
支払利息	0.3	0.3	0.3
固定資産処分損 他	2.0	1.6	1.7
營業外損益	6.1	4.4	3.7
特別利益	0.0	0.0	0.0
特別損失	0.0	0.0	0.0
特別損益	0.0	0.0	0.0

キャッシュフロー

(億円)

	2020実績	2021実績
	1Q	1Q
営業キャッシュ・フロー	124	118
税金等調整前純利益	104	123
投資有価証券売却損益(－は益)	0	0
減価償却費(1)	23	22
法人税等の支払	-60	-71
運転資金増減他	57	44
投資キャッシュ・フロー	-15	-33
設備投資	-20	-28
投資有価証券購入・売却	-1	-1
その他	6	-4
財務キャッシュ・フロー	-249	-238
株主還元(配当)	-70	-83
株主還元(自己株取得)	-41	-48
借入金増減額	-109	-84
その他	-29	-23
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額	-140	-153
現金及び現金同等物の残高	166	171

(1) のれん償却費を含む

貸借対照表

	2020/6	2021/3 (A)	2021/6 (B)	増減 (B) - (A)
流動資産	1,346	1,596	1,422	-174
現金預金	166	324	171	-153
売上債権	630	739	664	-75
たな卸資産	466	467	498	+31
その他	84	66	89	+23
固定資産	975	1,059	1,044	-15
有形固定資産	508	518	515	-3
無形固定資産	72	121	122	+1
投資有価証券*	346	359	349	-10
その他	49	61	58	-3
資産合計	2,321	2,655	2,466	-189

*投資有価証券内訳

上場株式	241	244	231	-13
非上場株式	27	27	28	+1
関係会社株式	78	88	90	+2
合計	346	359	349	-10

(億円)

	2020/6	2021/3 (A)	2021/6 (B)	増減 (B) - (A)
負債	475	649	527	-122
買入債務	158	163	157	-6
借入金	137	227	142	-85
その他	180	259	228	-31
純資産	1,846	2,006	1,939	-67
株主資本	1,736	1,869	1,811	-58
その他有価証券 評価差額金	102	114	105	-9
為替換算 調整勘定	-8	1	1	0
非支配株主持分	16	17	18	+1
退職給付に係る 調整累計額	0	5	4	-1
負債・純資産 合計	2,321	2,655	2,466	-189

・自己資本比率 78.8% 74.9% 77.9%

・D/Eレシオ (1) -1.7% -5.2% -1.6%

・株主資本増減-58 = 純利益88 - 配当その他146

(1) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

2020-21 1Q セグメント別売上高⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾

(億円)

	2020実績					2021実績	
	1Q (A)	2Q	3Q	4Q	計	1Q (B)	増減 (B) - (A)
化学	74	73	83	89	319	88	+14
ファイン	27	27	28	32	114	32	+5
基礎	47	46	55	57	205	56	+9
機能性	171	175	192	178	716	200	+29
農業化学	146	111	63	318	638	134	-12
医薬	15	15	14	23	67	11	-4
創薬	7	8	6	8	29	6	-1
FT	8	7	8	15	38	4	-3
卸売	182	155	178	183	698	178	-4
その他	48	46	68	76	238	49	+1
調整額	-143	-123	-161	-158	-585	-195	-52
合計	493	452	437	709	2,091	465	-28

2021予想 (2021/5発表)				
1Q	2Q	上	下	計
84	83	167	179	346
32	31	63	66	129
52	52	104	113	217
186	186	372	386	758
145	103	248	414	662
9	20	29	32	61
5	5	10	11	21
4	15	19	20	39
165	170	335	366	701
49	54	103	131	234
-238	-251	-489	-548	-1,037
400	365	765	960	1,725

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2021実績・予想は会計方針の変更影響を含む(p2、5、30参照)

(1Q実績)

(前年同期比) 会計方針変更による売上高減少-35億円

(業績予想比) 会計方針変更による売上高上ぶれ(代理人取引影響額)+55億円

2020-21 1Q セグメント別営業利益⁽¹⁾⁽²⁾

(億円)

	2020実績					2021実績		2021予想 (2021/5発表)				
	1Q (A)	2Q	3Q	4Q	計	1Q (B)	増減 (B) - (A)	1Q	2Q	上	下	計
化学	7	-8	7	9	15	13	+6	13	-3	10	14	24
機能性	53	54	63	54	224	70	+17	55	61	116	122	238
農業化学	40	38	-13	117	182	41	+1	38	20	58	118	176
医薬	-1	1	0	4	4	-2	-1	-3	5	2	1	3
創薬	-2	-1	-4	-2	-9	-3	-1	-4	-3	-7	-8	-15
FT	2	2	3	6	13	1	-1	1	8	9	9	18
卸売	7	5	7	6	25	7	0	5	6	11	11	22
その他	0	0	4	4	8	1	+1	0	0	0	7	7
調整額	-8	-8	-12	-5	-33	-11	-3	-10	-10	-20	-14	-34
合計	98	82	56	189	425	119	+21	98	79	177	259	436

(1) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

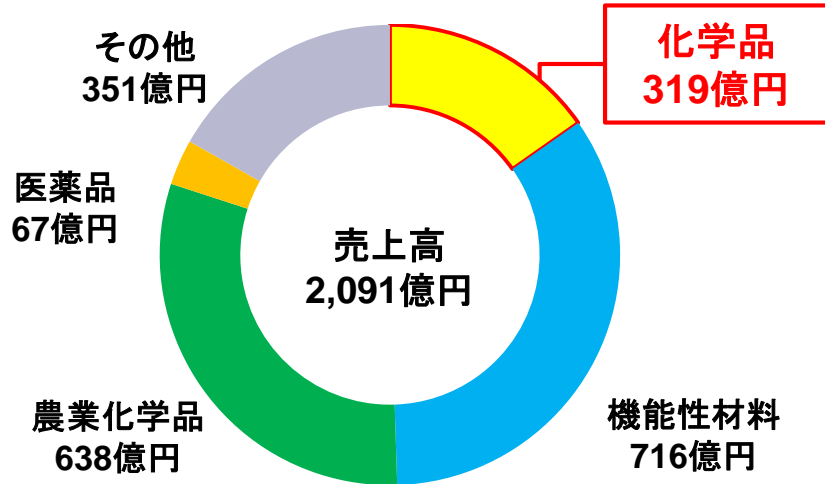
(2) 2021実績・予想は会計方針の変更影響を含む(p2、5、30参照)

(1Q実績)

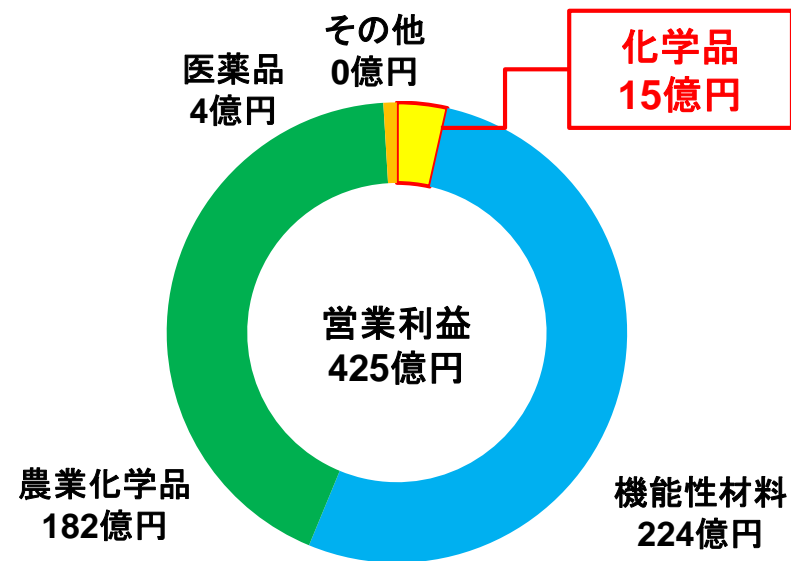
(前年同期比) 会計方針変更による営業利益増加+12億円

化学品セグメント概況 – (A) 業績

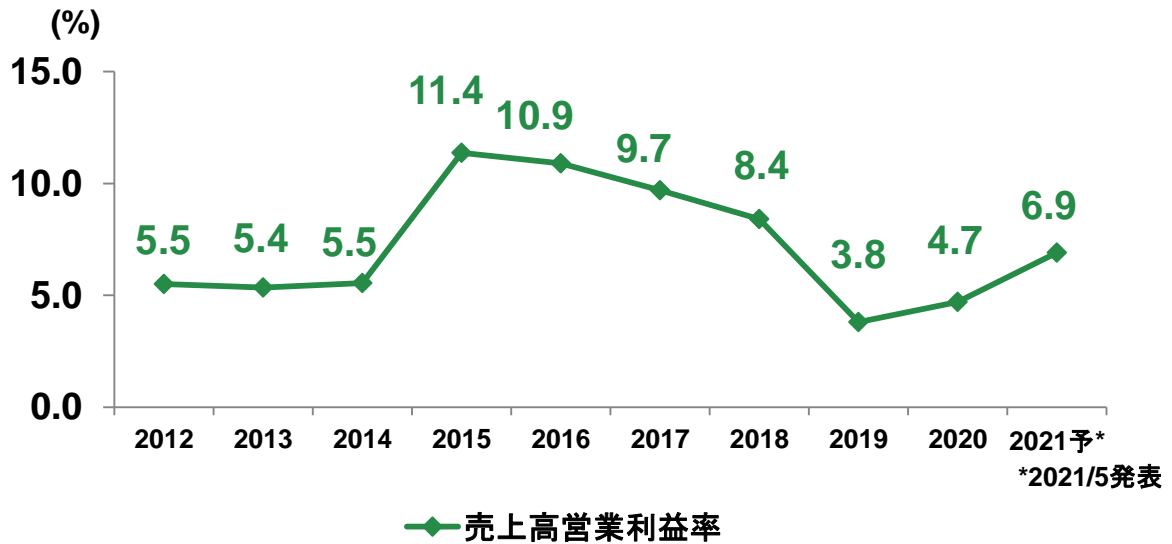
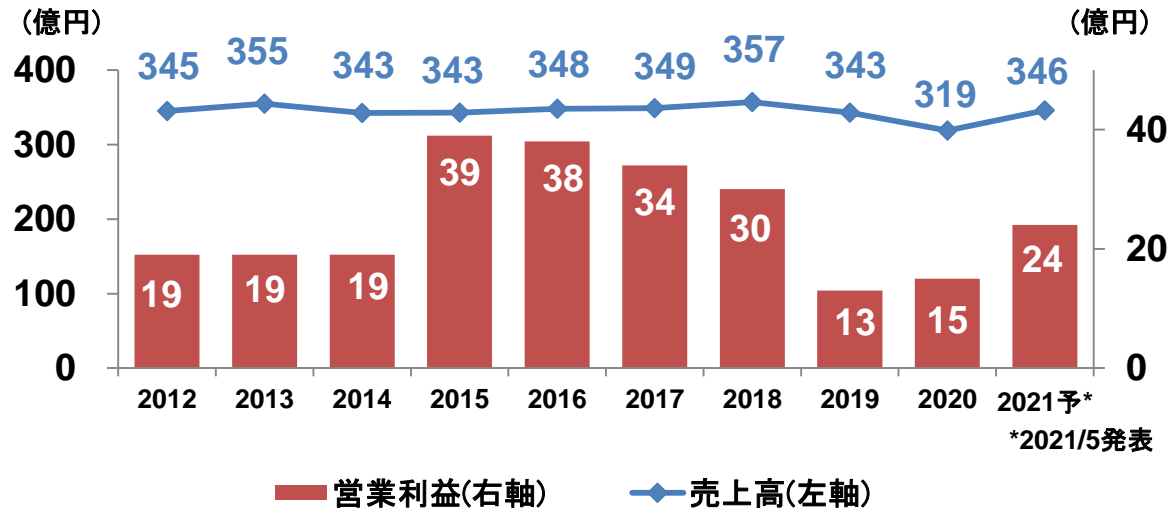
1. 2020年度 売上高構成



2. 2020年度 営業利益構成



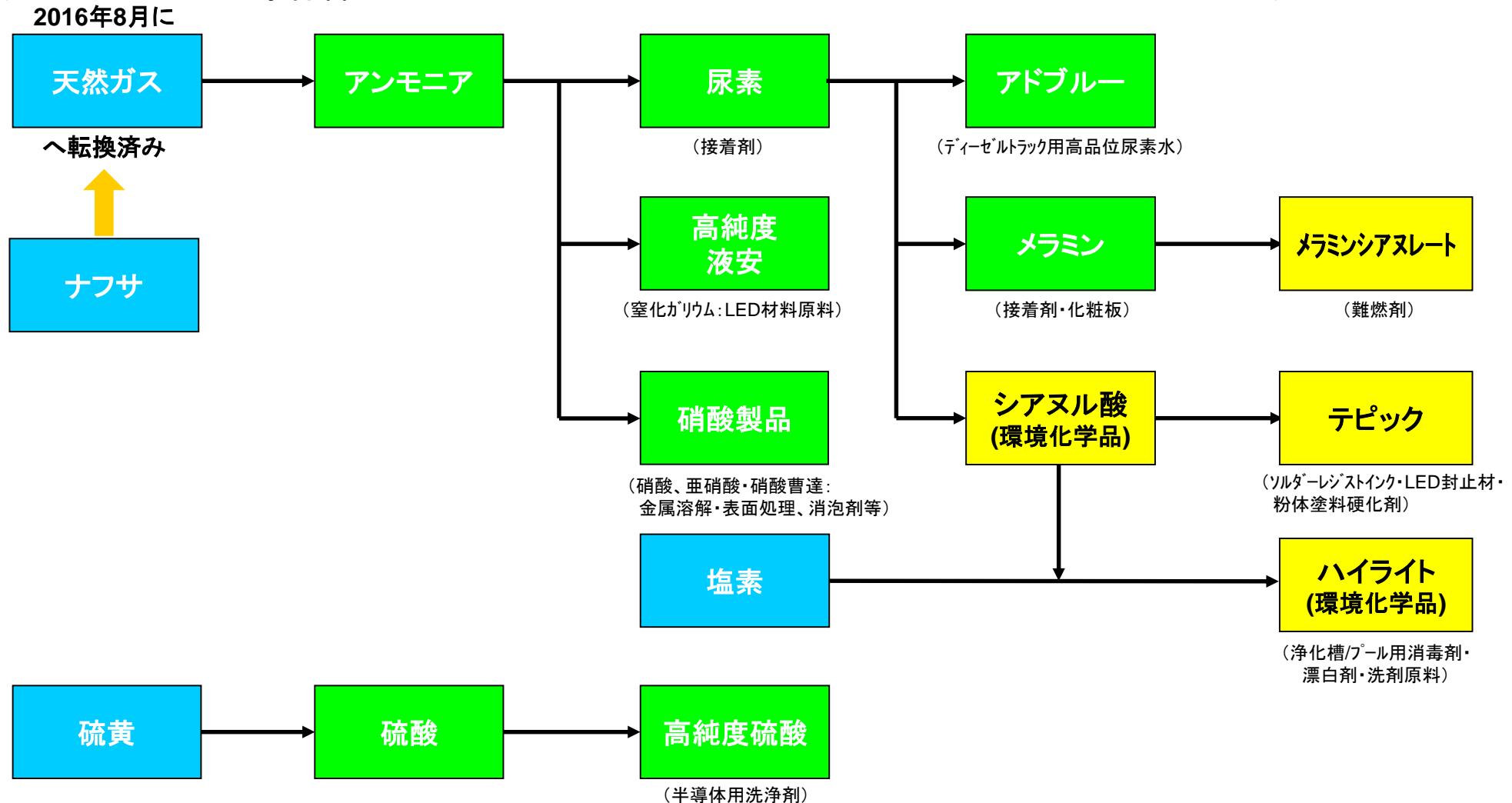
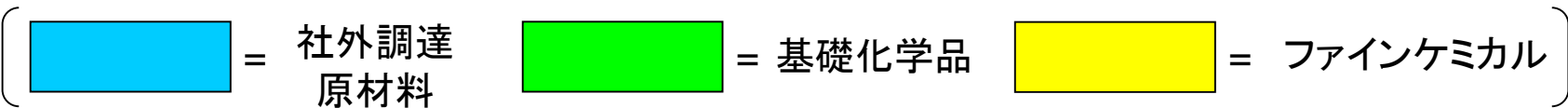
3. 化学品業績推移



化学品セグメント概況 – (B) 主要製品製造フロー

◆ 化学品主要製品 : アンモニア系製品と硫酸系製品

◆ 2020年度アンモニア国内生産能力シェア11%、高い自消率による付加価値向上



化学品セグメント概況 – (C) メラミン生産停止による化学品事業の構造改革 (2021年8月10日プレスリリース発表)

1. 当社の化学品事業構成(p12参照)

グループ	主要製品
アンモニア系製品	アンモニア、尿素・アドブルー、高純度液安、メラミン、硝酸、シアヌル酸、ハイライト、テピック、メラミンシアヌレート
硫酸系製品	硫酸、精製硫酸、高純度硫酸
その他製品	ファインオキシコール等

2. 売上高・営業利益状況

(億円)

	2018-20年度合計 構成	
	売上高	営業利益
アンモニア系製品	674 (66%)	7 (12%)
硫酸系製品	345 (34%)	51 (88%)
その他製品		
化学品セグメント合計	1,019(100%)	58(100%)

→ アンモニア系製品中、メラミンが売上高最大も赤字、メラミン以外のアンモニア系製品合計利益は黒字

3. メラミンの現状と展望

下記要因から、中長期的に安定的な利益を確保することは困難、新規投資による利益拡大も望めない

- ◆世界の生産能力は、需要の2倍(当社推定)
- ◆国内の生産能力(当社含め2社)は、需要の3倍(当社推定)
- ◆価格は、足元回復基調だが、安値中国品(生産能力は世界の約7割を占める)の動向に大きく左右され、不安定

4. 対応策

- (1) 2022年6月 メラミン生産停止、在庫消滅時点で販売終了
- (2) 高付加価値、高シェア製品への資源集中等による拡販
- (3) メラミン操業員は、富山工場内で配置転換

5. 対応策の業績への影響試算

- (1) メラミン関連諸費用は算定中なるも投資有価証券売却益で対応予定で影響は軽微。尚、5月14日発表の業績予想には織り込んでいない
- (2) 2023年度 化学品セグメント概算損益イメージ

(億円)

	2021年度 予想	2023年度と2021年度予想の差異 メラミン停止影響と対応策効果	2023年度 概算予想
	売上高	346	+16
営業利益	24	+10	34

6. ESG

メラミン停止によるCO2削減量試算: -26千トン … 2018年度実績の約7%に相当(p29参照)

化学品セグメント概況 – (D) 2021 1Q 主要製品売上高成長率、収益動向

<主要製品売上高成長率>

	2021 1Q実績	
	前年同期比	計画比 (21/5作成、非開示)
テピック	+29%	上ぶれ
環境化学品	+23%	下ぶれ
ファイン合計	+18%	予想通り
メラミン	+68%	上ぶれ
尿素・アドブルー	+14%	予想通り
高純度硫酸	+10%	予想通り
硝酸製品	+20%	上ぶれ
基礎化学品合計	+20%	上ぶれ

左記2製品グループの
2021年1Q実績ファインケミカル
売上高に占める割合: 77%

左記4製品グループの
2021年1Q実績基礎化学品
売上高に占める割合: 56%

<化学品収益動向>

(億円)

	2020実績 (A)	2021実績 (B)	増減 (B) - (A)	2021予想 (21/5発表)
	1Q	1Q	1Q	1Q
売上高	74	88	+14	84
ファイン	27	32	+5	32
基礎	47	56	+9	52
営業利益	7	13	+6	13

2021 1Q実績

<前年同期比>

- (ファイン) ◆ 増収: テピック一般(輸出回復)・電材(車載向け回復)、
環境(シアヌル酸能力増強)
◆ 売上高増加、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: メラミン輸出・国内(需要回復)、
硝酸製品(需要回復)、
尿素・アドブルー(需要回復)、
高純度硫酸(半導体向け好調)
◆ 売上高増加、営業利益増加
- (合計) ◆ 売上高+14億円、営業利益+6億円

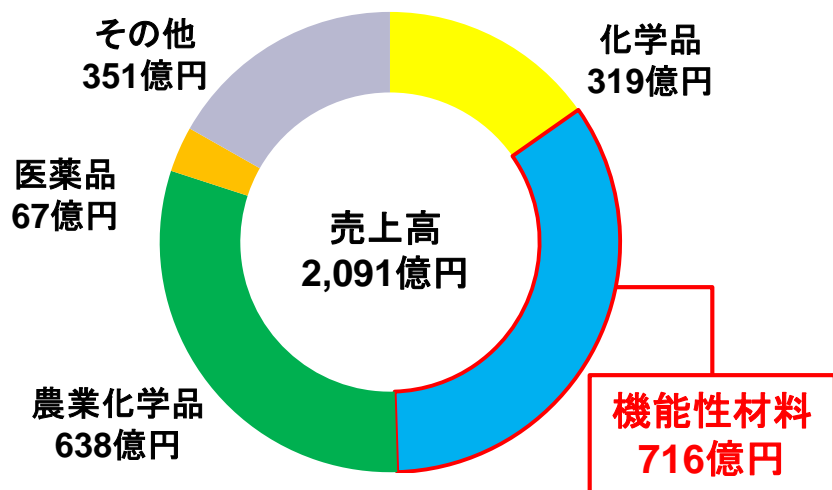
2021 1Q実績

<2021/5業績予想比>

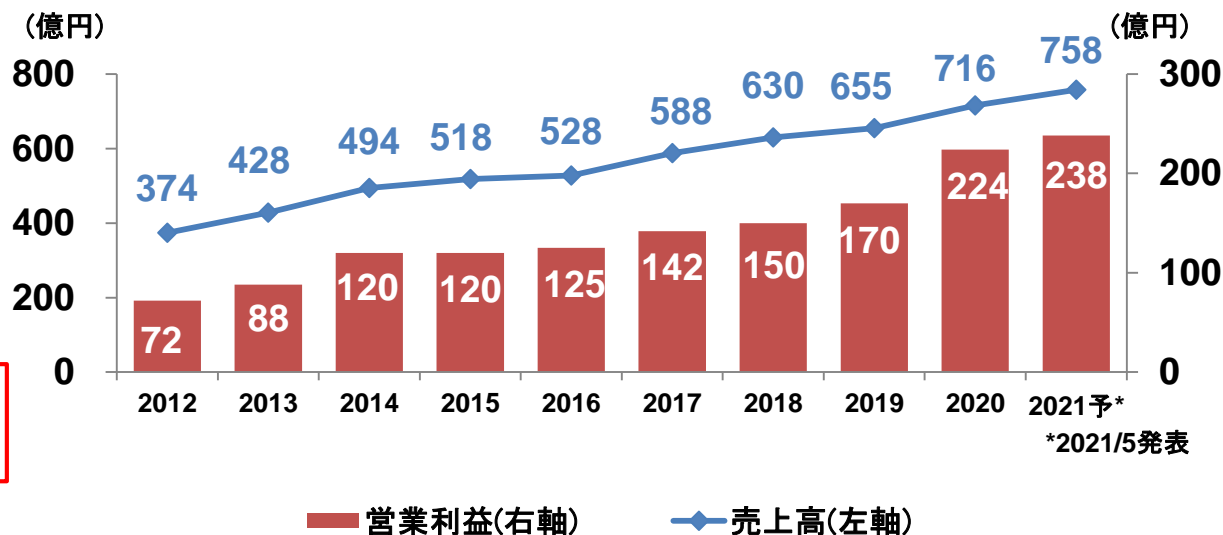
- (ファイン) ◆ 売上高上ぶれ: テピック一般
売上高下ぶれ: テピック電材、環境
◆ 売上高予想通り、営業利益下ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高上ぶれ: メラミン輸出、硝酸製品
売上高予想通り: 高純度硫酸、尿素・アドブルー
売上高下ぶれ: メラミン国内
◆ 売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
- (合計) ◆ 売上高+4億円、営業利益予想通り

機能性材料セグメント概況 – (A) 業績

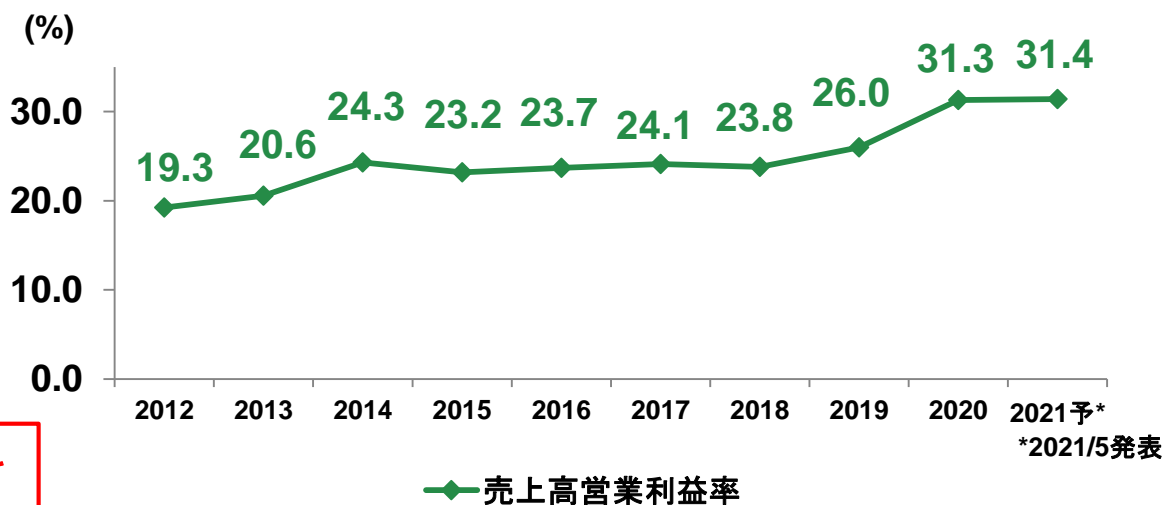
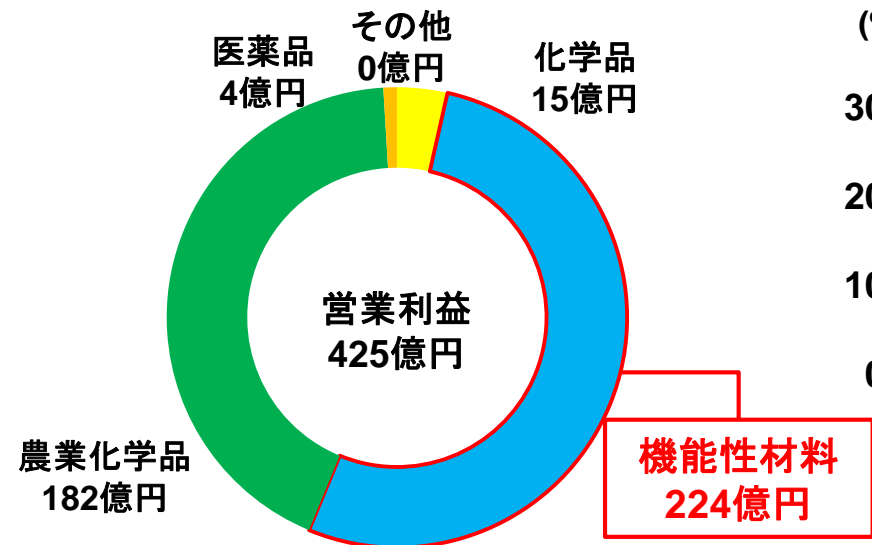
1. 2020年度 売上高構成



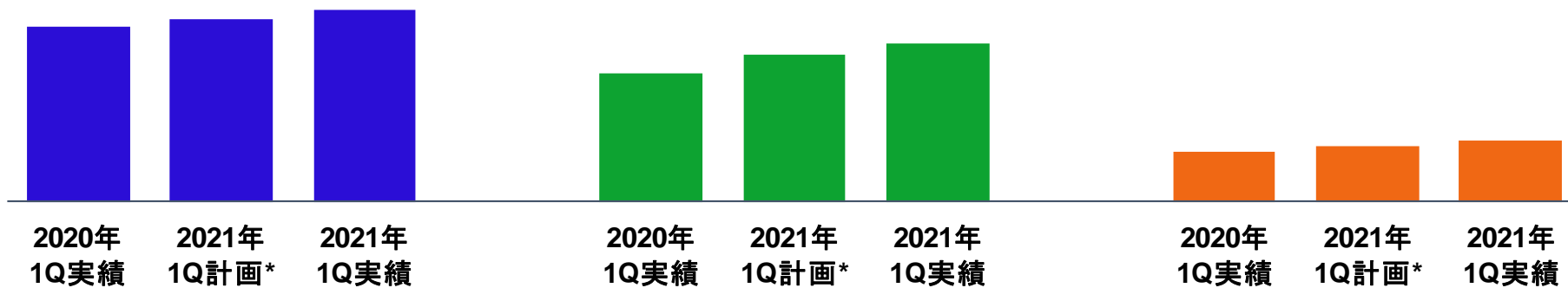
3. 機能性材料業績推移



2. 2020年度 営業利益構成



機能性材料セグメント概況 – (B) 2021 1Q 売上高構成



*21/5作成、非開示

< ディスプレイ材料 >

サンエバー：液晶配向材用ポリイミド

< 半導体材料 >

ARC®：半導体用反射防止コーティング材
 多層材料：半導体用多層プロセス材料 (OptiStack®)

その他
 新材料：EUV材料、
 CMOSイメージセンサー材料、
 三次元実装材等

< 無機コロイド >

スノーテックス：研磨材(シリコンウェハー、
 化合物半導体、半導体CMP等)
 特殊鋼板

オルガノゾル・
 モノマーゾル：電子機器用フィルム表面処理、
 樹脂添加剤

オイル&ガス材料：シェールオイル・ガス探掘効率向上材

機能性材料セグメント概況 – (C) 2021 1Q 主要製品売上高成長率

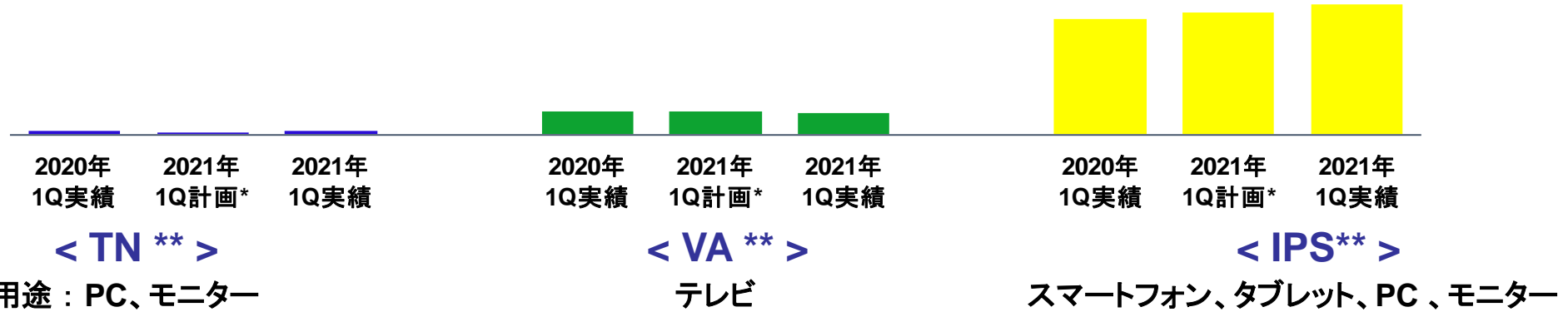
主要製品	2021 1Q実績	
	前年同期比	計画比 (21/5作成、非開示)
サンエバー合計	+9%	上ぶれ
ディスプレイ材料合計	+10%	上ぶれ
KrF (ARC®)	+12%	上ぶれ
ArF (ARC®)	+22%	上ぶれ
ARC® 小計	+19%	上ぶれ
その他半導体材料 合計 (1)	+37%	上ぶれ
半導体材料合計	+24%	上ぶれ

主要製品	2021 1Q実績	
	前年同期比	計画比 (21/5作成、非開示)
スノーテックス	+16%	上ぶれ
オルガノゾル・ モノマーゾル	+26%	上ぶれ
オイル & ガス材料	1,600%以上	下ぶれ
無機コロイド合計	+25%	上ぶれ

(1) 多層材料 (OptiStack®)、EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材等

機能性材料セグメント概況 – (D) 2021 1Q サンエバー モード別売上高

<モード別売上高構成>



< TN ** >

主要用途：PC、モニター

*21/5作成、非開示

**TN : Twisted Nematic, VA : Vertical Alignment, IPS : In-Plane Switching

< VA ** >

テレビ

< IPS** >

スマートフォン、タブレット、PC、モニター

<モード別前年同期比売上高成長率>

	2021 1Q実績	
	前年同期比	計画比 (21/5作成、非開示)
TN	↓	上ぶれ
VA	↓	下ぶれ
IPS	↗ ↘	上ぶれ
サンエバー計	+9%	上ぶれ

前年同期比売上高増減

+10～+19%	↗↗
+0～+9%	↗
-0～-9%	↘
-10～-19%	↘↘

機能性材料セグメント概況 – (E) 2021 1Q 収益動向

<機能性材料収益動向>

	(億円)			
	2020実績 (A)	2021実績 (B)	増減 (B) - (A)	2021予想 (21/5発表)
	1Q	1Q	1Q	1Q
売上高	171	200	+29	186
営業利益	53	70	+17	55

半導体その他新材料: EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

2021 1Q実績 <前年同期比>

- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(スマホ、非スマホ好調)、
ラビングIPS減収、VA減収、TN減収
固定費増加2億円
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料・その他新材料増収)
半導体市場全般好調
固定費増加2億円
- ◆ 無機増収、増益
スノーテックス増収(一般用途・研磨材増収)
オルガノ・モノマーゾル増収
オイル&ガス材料増収(シェールオイル市場回復)
固定費増加2億円
- ◆ 固定費増加合計6億円
- ◆ 売上高+29億円、営業利益+17億円

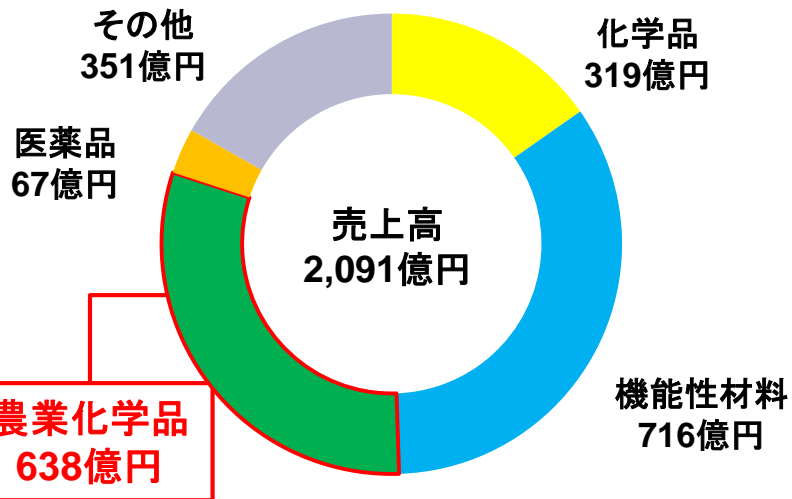
2021 1Q実績 <2021/5業績予想比>

- ◆ DP売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
光IPS上ぶれ(スマホ、非スマホ上ぶれ)、ラビングIPS上ぶれ、
VA下ぶれ、TN上ぶれ
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ、その他上ぶれ(多層材料・その他新材料上ぶれ)
半導体市場全般好調
固定費下ぶれ3億円(プラス要因)
- ◆ 無機売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
スノーテックス上ぶれ(一般用途・研磨材上ぶれ)
オルガノ・モノマーゾル上ぶれ
オイル&ガス材料下ぶれ
固定費上ぶれ1億円(マイナス要因)
- ◆ 固定費下ぶれ合計2億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+14億円、営業利益+15億円

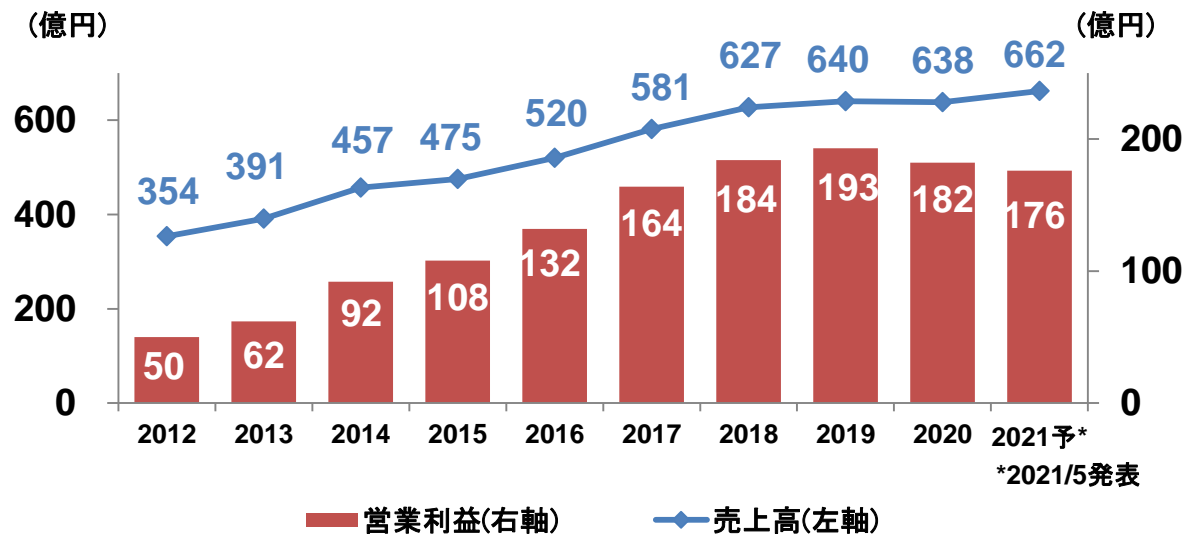
(白紙)

農業化学品セグメント概況 – (A) 業績

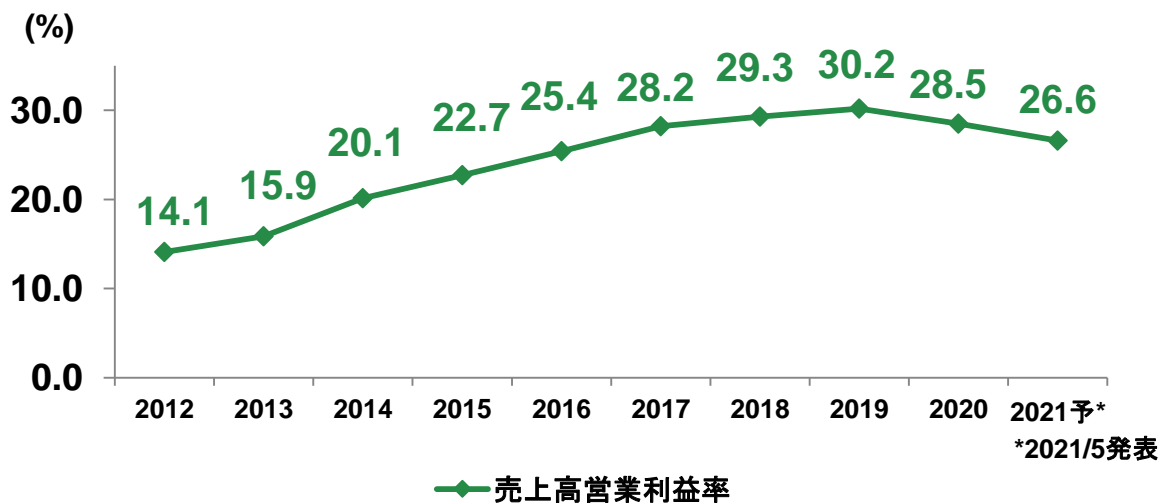
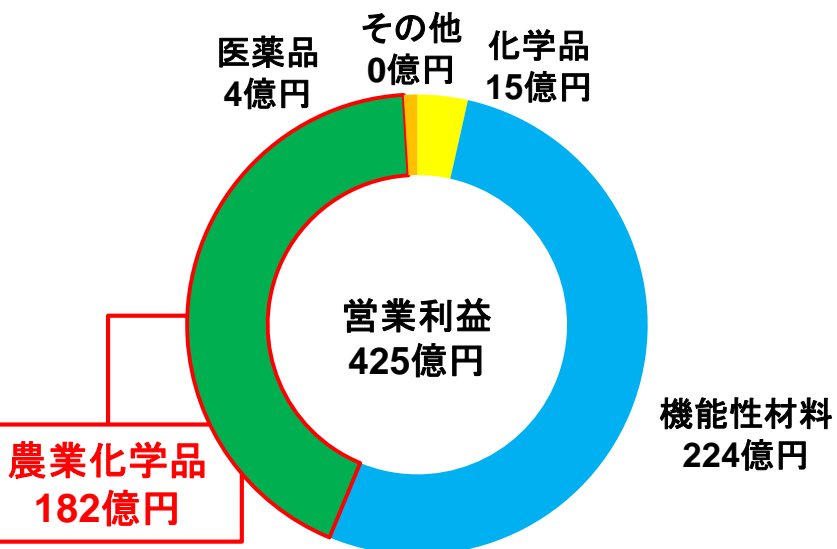
1. 2020年度 売上高構成



3. 農業化学品業績推移



2. 2020年度 営業利益構成



農業化学品セグメント概況 - (B) 主要製品連結売上高成長率(値引前)

2021 1Q実績

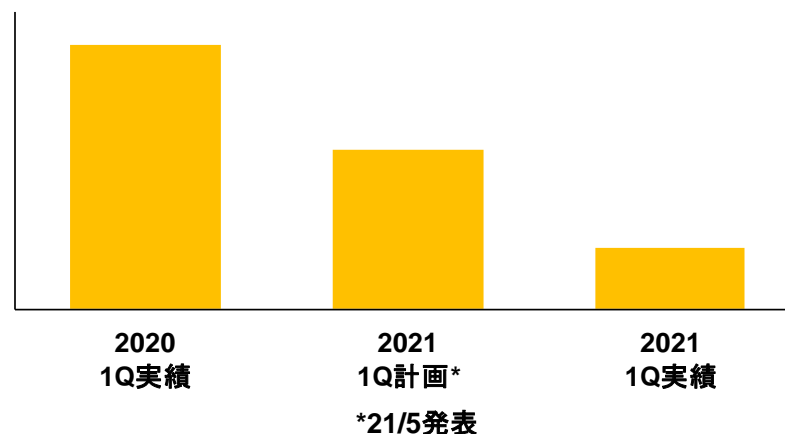
主要製品名 (2020年売上高順)	種類	前年同期比	計画比 (21/5作成、非開示)
ラウンドアップ(1)	除草	0%	下ぶれ
フルララネル (2)	動物薬	+45%	上ぶれ
アルテア	除草	-36%	下ぶれ
タルガ	除草	-27%	上ぶれ
グレーシア	殺虫	-77%	下ぶれ
パーミット	除草	+5%	予想通り
ライメイ	殺菌	+55%	予想通り
クインテック	殺菌	400%以上	上ぶれ
ダイセン	殺菌	-	予想通り
農業化学品 セグメント合計	-	-1%	下ぶれ

◆国内農薬販売額第1位 (2018年10月～2019年9月)

⇒2020年1月22日開催 ラウンドアップの現状説明会資料参照

https://www.nissanchem.co.jp/news_release/news/n2020_01_23.pdf

◆グレーシア売上高 2021 1Q実績



(1) ラウンドアップALは2021年度1Qラウンドアップ売上高全体の36%を占める

(2) 2021年度1Q実績・計画は会計方針の変更影響を含む(ロイヤリティ収入増)(p2、25参照)

農業化学品セグメント概況 – (C)直近の農薬製品買収

◆クインテック(キノキシフェン)

- ・2019年11月米国コルテバ社より事業を買収
- ・2019年12月販売開始
- ・クインテック = キノキシフェン(有効成分)を含む製品群中の主製品
- ・果樹、野菜用殺菌剤、主な市場は米国
- ・果樹(特にブドウ)や野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的

◆ダイセン(マンゼブ)

- ・2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収
- ・2021年1月国内販売開始
- ・ダイセン = マンゼブ(有効成分)を含む製品群中の主製品
- ・果樹(特にりんご、かんきつ)・野菜用保護殺菌剤、耐雨性に優れる
- ・監査後無形固定資産の償却期間は、資産の種類別に5年・16年(定額法)(加重平均15.6年)で確定(監査前は5年で仮計算)

＜ダイセン収益予想＞ (億円)

年度	営業利益	償却前営業利益
2020	3	4
2021	7	11
2022-26計	36	53

農業化学品セグメント概況 – (D-1) フルララネル

◆フルララネル(Fluralaner)

- BRAVECTO・EXZOLTの有効成分として、当社がMSD社*に供給
- BRAVECTOシリーズ・EXZOLTは現在100か国以上で販売中
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
 - ・2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
 - ・UK、ドイツ、フランス等一部欧州諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は延長申請中

*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門の
MSD Animal Health 社の略称

◆ブラベクト(BRAVECTO)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- 通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間**にわたって持続する

**クリイロコイタマダニは8週間

- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)

2014年4月欧州、以降米国、日本等で上市、2019年7月中国上市

2020年7月1か月剤(子犬向け)米国上市

- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)

(猫)2016年7月欧州、以降米国、日本等上市

(犬)2017年1月米国・欧州等上市、2021年1月日本上市

◆ブラベクトプラス(BRAVECTO Plus)

- 猫向け外内部寄生虫スポットオン合剤

2018年7月欧州、以降米国等上市

2021年1月日本上市

◆エグゾルト(EXZOLT)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)

2017年9月欧州、以降韓国、中東等上市

2021年7月日本上市

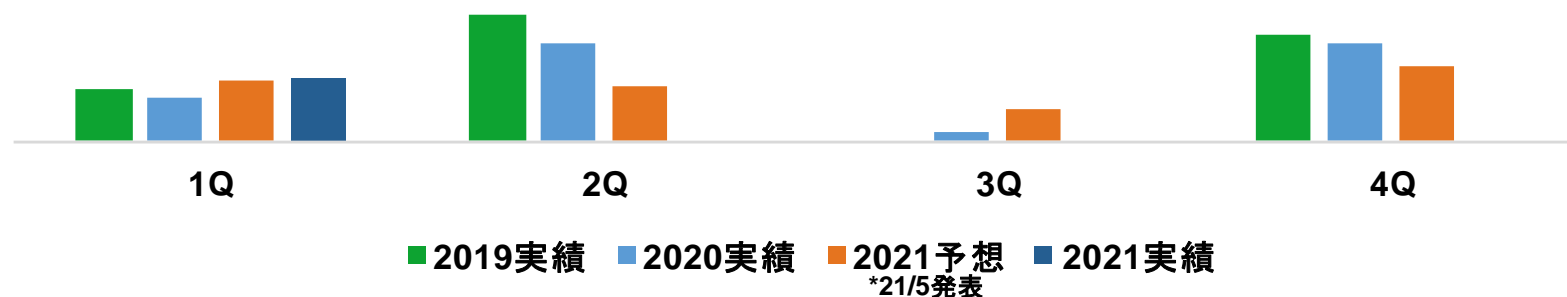


農業化学品セグメント概況 – (D-2) フルララネル

◆当社売上高構成

MSD社へのフルララネル販売、MSD社からのランニングロイヤリティ(RR)収入

◆2019～2021年四半期別売上高推移(ロイヤリティ収入含む)



◆2021年度よりRR売上高計上基準変更

(2020年度まで)MSD売上高1-6月分:8月計上、同7-12月分:2月計上

(2021年度より)MSD売上高1-3月分:5月計上、同4-6月分:8月計上、

同7-9月分:11月計上、同10-12月分:2月計上

農業化学品セグメント概況 – (E) 収益動向⁽¹⁾

<農業化学品収益動向>

				(億円)
	2020実績 (A)	2021実績 (B)	増減 (B) - (A)	2021予想 (21/5発表)
	1Q	1Q	1Q	1Q
売上高	146	134	-12	145
営業利益	40	41	+1	38

(1) 2021実績・予想は会計方針の変更影響を含む(フルラネルロイヤリティ収入増・農薬売上値引コスト増)(p2参照)

2021 1Q実績 <前年同期比>

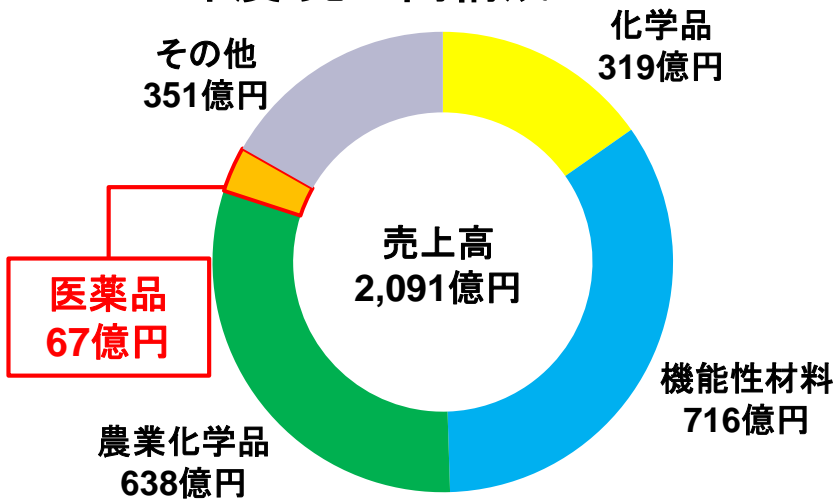
- ◆ 増収:フルラネル(会計方針の変更によるロイヤリティ計上)、ダイセン(20年4Q販売開始)、クインテック(輸出)、ライメイ(輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 横ばい:ラウンドアップ(ML減収、AL増収)
- ◆ 減収:グレーシア(国内・輸出)、アルテア(国内)、タルガ(輸出)
- ◆ 固定費増加1億円
- ◆ 在庫変動影響+3億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-12億円、営業利益+1億円
(会計方針の変更による売上高増加+12億円、営業利益増加+12億円)

2021 1Q実績 <2021/5業績予想比>

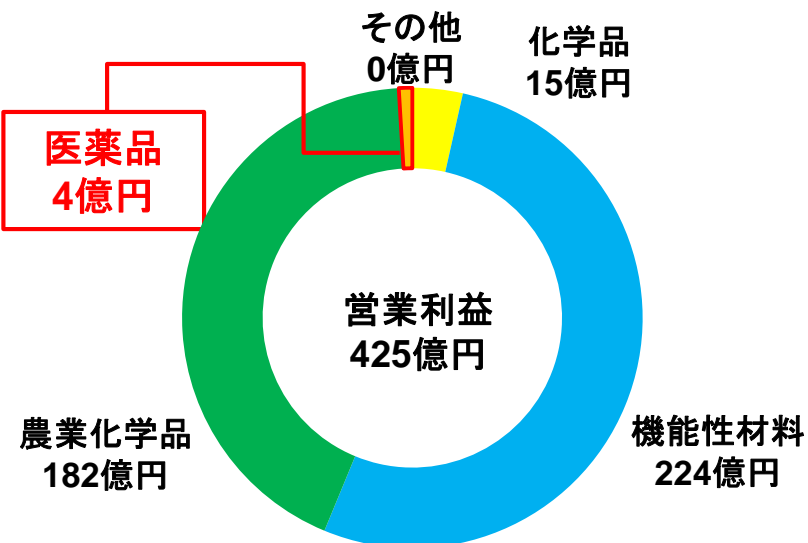
- ◆ 売上高上ぶれ:フルラネル(ロイヤリティ収入上ぶれ)、クインテック(輸出)、タルガ(輸出)
- ◆ 売上高予想通り:パーミット、ライメイ、ダイセン
- ◆ 売上高下ぶれ:ラウンドアップ(ML)、グレーシア(国内)、アルテア(国内)
- ◆ 固定費下ぶれ3億円(プラス要因)
- ◆ 在庫変動影響+4億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-11億円、営業利益+3億円

医薬品セグメント概況 – (A) 業績

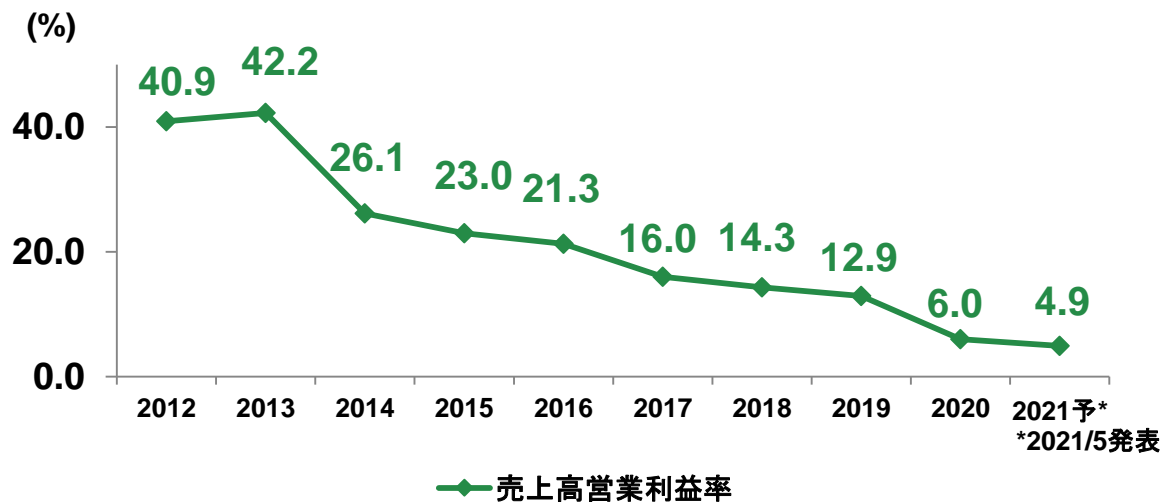
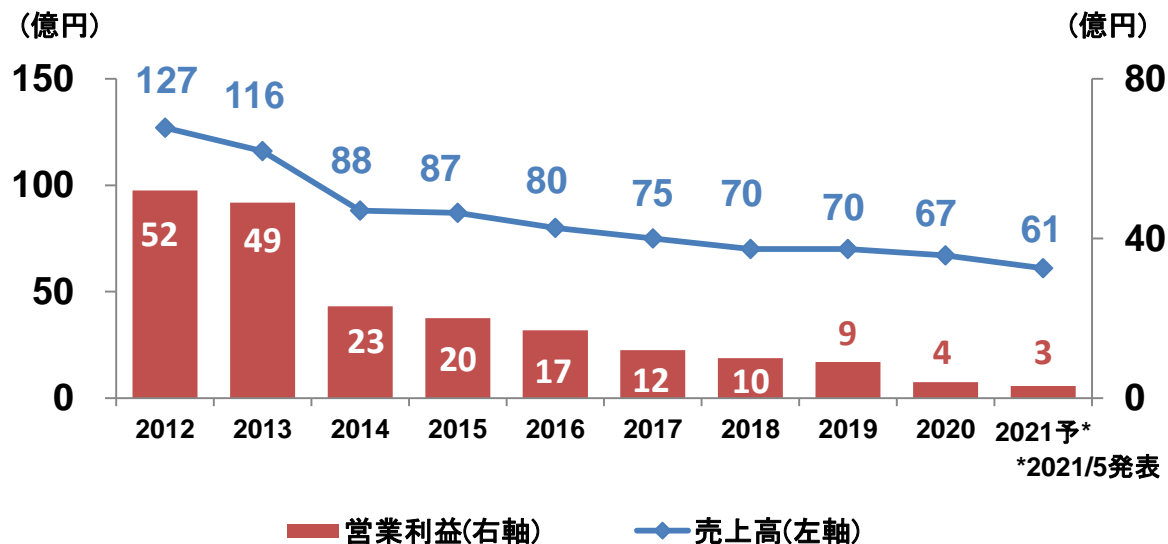
1. 2020年度 売上高構成



2. 2020年度 営業利益構成



3. 医薬品業績推移



医薬品セグメント概況 – (B) 2021 1Q 主要製品売上高成長率、収益動向

<主要製品売上高成長率>

	2021 1Q実績	
	前年同期比	計画比 (21/5作成、非開示)
リバロ	-18%	上ぶれ
ファインテック	-42%	上ぶれ
医薬品 セグメント合計	-29%	上ぶれ

<医薬品収益動向> (1)

	2020実績 (A)	2021実績 (B)	増減 (B) - (A)	(億円) 2021予想 (21/5発表)
	1Q	1Q	1Q	1Q
売上高	15.0	10.7	-4.3	8.9
創薬	7.4	6.3	-1.1	4.9
FT	7.6	4.4	-3.2	4.0
営業利益	-0.7	-1.9	-1.2	-3.3
創薬	-2.2	-2.9	-0.7	-4.0
FT	1.5	1.0	-0.5	0.7

(1) p9,10,31,32,33,34では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

2021 1Q実績

<前年同期比>

- (創薬)
 - ◆ リバロ減収(国内増収、輸出減収)
 - ◆ 売上高-1.1億円、営業利益-0.7億円
- (FT)
 - ◆ 減収
 - ◆ 棚卸評価損+1億円
(20年度評価損計上・21年度計上なし、プラス要因)
 - ◆ 売上高-3.2億円、営業利益-0.5億円
- (合計)
 - ◆ 売上高-4.3億円、営業利益-1.2億円

2021 1Q実績

<2021/5業績予想比>

- (創薬)
 - ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内上ぶれ、輸出上ぶれ)
 - ◆ 売上高+1.4億円、営業利益+1.1億円
- (FT)
 - ◆ 売上高上ぶれ
 - ◆ 売上高+0.4億円、営業利益+0.3億円
- (合計)
 - ◆ 売上高+1.8億円、営業利益+1.4億円

ESGへの取り組み

◆ ESGインデックス等

- 2017年～ 健康経営優良法人ホワイト500に5年連続認定
- 2020年6月 S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数の構成銘柄に2年連続で選定
- 2020年8月 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 提言への賛同を表明
- 2020年10月 「統合レポート2020」を発行 (https://www.nissanchem.co.jp/ir_info/archive/ar/ar2020.pdf)
- 2020年11月 Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index の構成銘柄に3年連続選定
- 2020年12月 CDP 水セキュリティにおいて「Aリスト」に2年連続選定
- 2021年1月 温室効果ガス (GHG) 排出削減長期目標を設定

中期経営計画Vista2021 (2016-2021年度) 目標:

2021年度までに、2011年度比 20%削減 → 2019年度の段階で、2011年度比 27%削減を達成済

新長期目標:2030年度までに、2018年度比 30%削減

温室効果ガス (GHG) 排出量 (CO2換算、千トン)

年度	2011	2018	2019	2021	2030
中期経営計画Vista2021	-	-	-	359	-
実績	448	363	327	-	-
新長期目標	-	-	-	-	254
大手総合化学5社平均	-	-	5,069	-	-

- 2021年4月 ダイバーシティステートメントおよびダイバーシティビジョンを設定
- 2021年7月 FTSE4Good Index SeriesおよびFTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に2年連続選定
- 2022年6月 (予定) メラミン停止によるGHG削減 (26千トン、2018年度実績の約7%に相当)

◆ ガバナンス

- 2019年4月 指名・報酬諮問委員会設置 (取締役会の任意の諮問機関)
- 2019年6月 取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入 (株式給付信託)
- 2021年6月 女性取締役1名選任 (選任後、取締役は計10名、うち社外4名)

◆ 東京証券取引所「企業価値向上表彰」表彰候補50社に選定

- 2020年1月 2019年度「企業価値向上表彰」の表彰候補として、上場企業約3,600社中50社に2年連続選定 (2020年度東証は表彰見送り)

◆ ディスクロージャー優良企業を受賞

- 2020年10月 証券アナリスト協会「ディスクロージャー優良企業選定」にて化学・繊維部門の第1位に初選定

2021予想(2021年5月14日発表、今回変更なし)⁽¹⁾

(億円)

	2020実績					2021予想					増減					増減率
	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計	計
売上高	493	452	945	1,146	2,091	400	365	765	960	1,725	-93	-87	-180	-186	-366	-18%
営業利益	98	82	180	245	425	98	79	177	259	過去最高 436	0	-3	-3	+14	+11	+3%
営業外損益	6	-4	2	12	14	4	-1	3	10	13	-2	+3	+1	-2	-1	-
経常利益	104	78	182	257	439	102	78	180	269	過去最高 449	-2	0	-2	+12	+10	+2%
特別損益(2)	0	11	11	5	16	0	10	10	6	16	0	-1	-1	+1	0	-
純利益(3)	76	63	139	196	335	75	65	140	201	過去最高 341	-1	+2	+1	+5	+6	+2%
EBITDA(4)	121	107	228	302	530	-	-	227	320	547	-	-	-1	+18	+17	+3%
EPS(円/株)	52.38	43.58	95.96	135.77	231.73	-	-	98.03	141.15	239.18	-	-	+2.07	+5.38	+7.45	+3%
配当(円/株)	-	-	46	58	104	-	-	48	60	108	-	-	+2	+2	+4	
配当総額	-	-	66	84	150	-	-	68	86	154	-	-	+2	+2	+4	
売上高営業利益率	19.9%	18.1%	19.0%	21.4%	20.3%	24.5%	21.6%	23.1%	27.0%	25.3%	+4.6%	+3.5%	+4.1%	+5.6%	+5.0%	
ROE	-	-	-	-	17.5%	-	-	-	-	17.0%						-0.5%
為替レート(円/ドル)	108	106	107	105	106	107	107	107	107	107						
原油(JCC)(ドル/bbl)(5)	31	41	36	50	43	55	55	55	55	55						

(1) 2021予想:会計方針の変更による主たる影響(p2参照)(数値は2021年5月14日発表の予想値):

- ①代理人取引影響 上期-206億円、下期-240億円、計-446億円(上記売上高に反映済、セグメント情報では調整額に反映)
 売上値引影響 上期-10億円、下期+10億円、計0億円(上記売上高に反映済、セグメント情報では農薬売上高に反映)
 合計 上期-216億円、下期-230億円、計-446億円

②営業利益・経常利益 上期-10億円、下期+10億円、計0億円(農薬)

③当期純利益 上期-7億円、下期+7億円、計0億円

(2) 2021予想:投資有価証券売却益16億円

(3) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(4) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(5) 実績は財務省貿易統計ベース

2017-21 1Q 四半期別セグメント別営業利益⁽¹⁾⁽²⁾

(億円)

	2017実績 (旧方式)					2018実績 (旧方式)					2019実績 (新方式)					2020実績 (新方式)					2021実績 (新方式)
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q
化学	15	-2	12	9	34	16	-4	10	8	30	9	-6	5	5	13	7	-8	7	9	15	13
機能	36	41	40	25	142	39	42	43	26	150	40	44	47	39	170	53	54	63	54	224	70
農化	45	36	-6	89	164	51	47	-13	99	184	45	49	-18	117	193	40	38	-13	117	182	41
医薬	5	0	6	1	12	3	3	4	0	10	4	1	1	3	9	-1	1	0	4	4	-2
創薬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-2	-2	0	-1	-2	-1	-4	-2	-9	-3
FT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	2	4	11	2	2	3	6	13	1
卸売	4	5	5	4	18	6	5	6	3	20	5	5	6	5	21	7	5	7	6	25	7
他	1	1	1	3	6	1	1	2	5	9	1	0	1	5	7	0	0	4	4	8	1
調整	-6	-8	-7	-5	-26	-9	-7	-8	-8	-32	-11	-6	-7	-3	-27	-8	-8	-12	-5	-33	-11
合計	100	73	51	126	350	107	87	44	133	371	93	87	35	171	386	98	82	56	189	425	119

(1) 2019-21 :新方式セグメント別営業利益

1. 2020年度より変更(売上高は変更なし)

2. 2019年度は遡及して再計算

3. 連結調整(固定資産未実現利益、棚卸資産未実現利益など)は、旧方式では各セグメントに配賦していたが、新方式では各セグメントに配賦せず調整額で一括処理

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

2021予想 セグメント別売上高(2021年5月14日発表、今回変更なし)⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾

(億円)

	2020実績					2021予想					増減				
	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計
化学	74	73	147	172	319	84	83	167	179	346	+10	+10	+20	+7	+27
ファイン	27	27	54	60	114	32	31	63	66	129	+5	+4	+9	+6	+15
基礎	47	46	93	112	205	52	52	104	113	217	+5	+6	+11	+1	+12
機能性	171	175	346	370	716	186	186	372	386	758	+15	+11	+26	+16	+42
農業化学	146	111	257	381	638	145	103	248	414	662	-1	-8	-9	+33	+24
医薬	15	15	30	37	67	9	20	29	32	61	-6	+5	-1	-5	-6
創薬	7	8	15	14	29	5	5	10	11	21	-3	-3	-5	-2	-7
FT	8	7	15	23	38	4	15	19	20	39	-4	+8	+4	-3	+2
卸売	182	155	337	361	698	165	170	335	366	701	-17	+15	-2	+5	+3
その他	48	46	94	144	238	49	54	103	131	234	+1	+8	+9	-13	-4
調整額	-143	-123	-266	-319	-585	-238	-251	-489	-548	-1,037	-95	-128	-223	-229	-452
合計	493	452	945	1,146	2,091	400	365	765	960	1,725	-93	-87	-180	-186	-366

(1) 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2) 2021予想: 会計方針の変更による売上高減少を含む(p2、30参照)

(3) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

2021予想 セグメント別営業利益(2021年5月14日発表、今回変更なし) (1)(2)

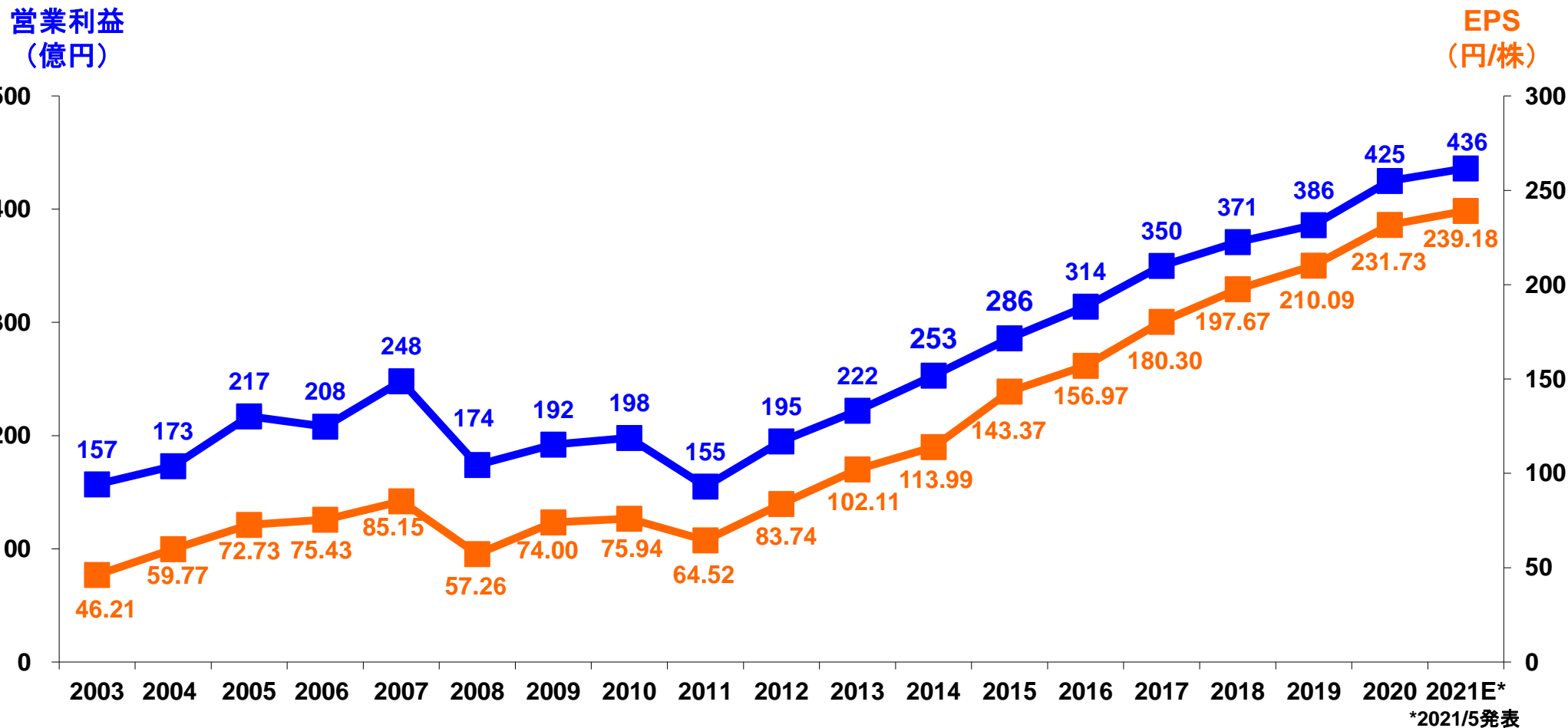
(億円)

	2020実績					2021予想					増減				
	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計
化学	7	-8	-1	16	15	13	-3	10	14	24	+6	+5	+11	-2	+9
機能性	53	54	107	117	224	55	61	116	122	238	+2	+7	+9	+5	+14
農業化学	40	38	78	104	182	38	20	58	118	176	-2	-18	-20	+14	-6
医薬	-1	1	0	4	4	-3	5	2	1	3	-2	+4	+2	-3	-1
創薬	-2	-1	-4	-6	-9	-4	-3	-7	-8	-15	-2	-2	-4	-2	-6
FT	2	2	4	9	13	1	8	9	9	18	-1	+6	+5	0	+5
卸売	7	5	12	13	25	5	6	11	11	22	-2	+1	-1	-2	-3
その他	0	0	0	8	8	0	0	0	7	7	0	0	0	-1	-1
調整額	-8	-8	-16	-17	-33	-10	-10	-20	-14	-34	-2	-2	-4	+3	-1
合計	98	82	180	245	425	98	79	177	259	436	0	-3	-3	+14	+11

(1) 2021予想:会計方針の変更影響を含む(p2、30参照)

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

長期業績推移



長期業績推移 (1)

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021E*
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	1,725
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	436
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	439	449
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	335	341
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	403	455	480	492	530	547
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	25.3%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	17.5%	17.0%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	231.73	239.18
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	104	108
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	44.9%	45.2%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100	100	70
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	2,655	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	2,006	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	306	324	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	246	227	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	74.9%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	143	137	99	157	158	134
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	105	104	109
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	165	168
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	7.9%	9.8%

(1) 2021予想:会計方針の変更による売上高減少446億円(p2、30参照)

*2021/5発表

セグメント別売上高、営業利益推移 (1)(2)(3)(4)

<売上高 (A)>

(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021E*
化学	381	369	345	355	343	343	348	349	357	343	319	346
機能	380	340	374	428	494	518	528	588	630	655	716	758
農化	344	338	354	391	457	475	520	581	627	640	638	662
医薬	96	100	127	116	88	87	80	75	70	70	67	61
卸売	441	448	466	507	544	556	552	595	679	679	698	701
他	270	200	212	214	209	209	240	215	246	224	238	234
調整	-370	-309	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-585	-1,037
合計	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	1,725

*2021/5発表

<営業利益 (B)>

化学	24	16	19	19	19	39	38	34	30	13	15	24
機能	79	48	72	88	120	120	125	142	150	170	224	238
農化	48	44	50	62	92	108	132	164	184	193	182	176
医薬	44	46	52	49	23	20	17	12	10	9	4	3
卸売	14	13	14	15	17	18	17	18	20	21	25	22
他	10	3	7	8	6	5	10	6	9	7	8	7
調整	-21	-15	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-33	-34
合計	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	436

<セグメント資産 (D)>

2020
308
510
828
96
262
128
523
2,655

<営業利益率 (C)=(B)/(A)>

化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	4.7%	6.9%
機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	31.3%	31.4%
農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.5%	26.6%
医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	6.0%	4.9%
卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	3.6%	3.1%
他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	3.4%	3.0%
合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	25.3%

<ROA (E)=(B)/(D)>

4.9%
43.9%
22.0%
4.2%
9.5%
6.3%
16.0%

(1) 2010-11 : 旧セグメント, 2012- : 新セグメント

(2) 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

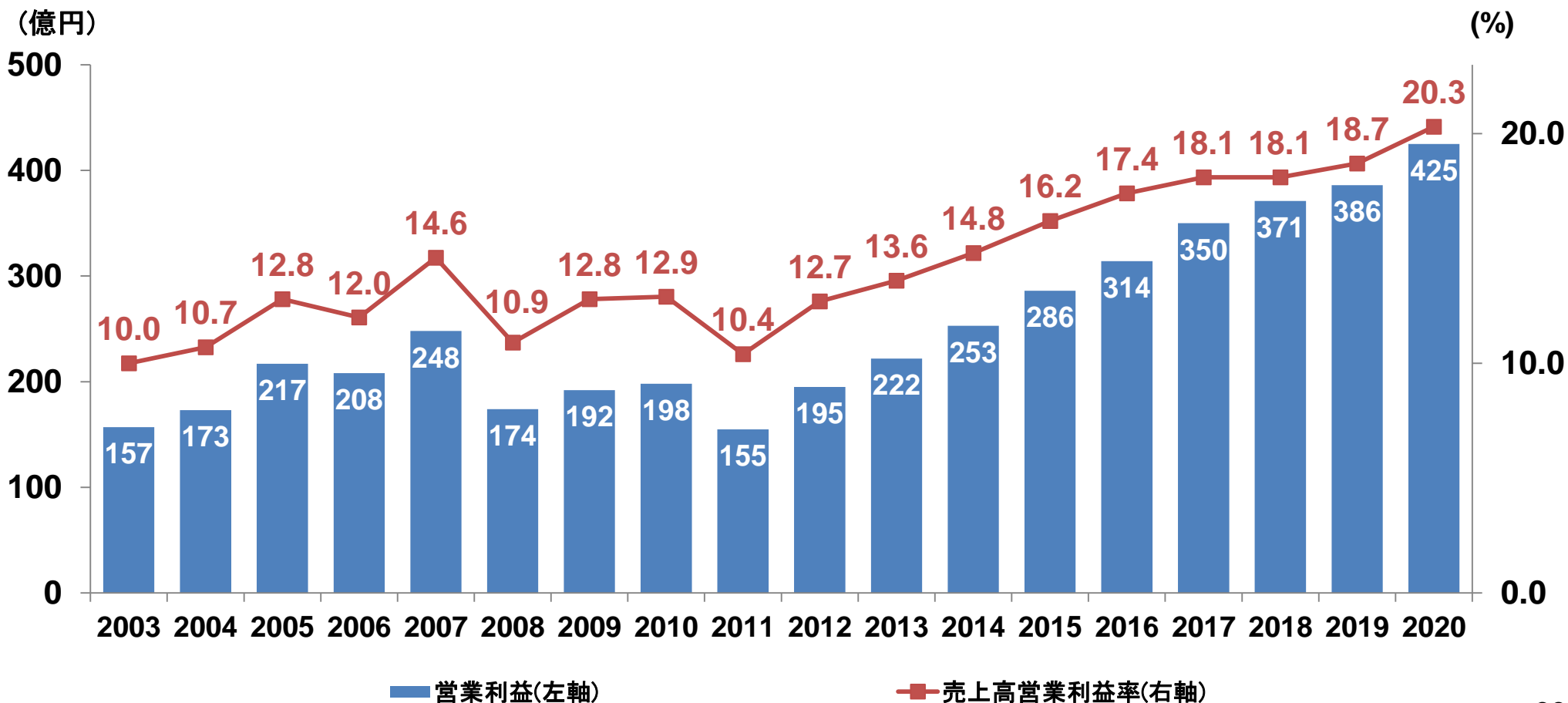
(3) 2019-21 予想 : 新方式セグメント別営業利益 (p32 参照)

(4) 2021 予想 : 会計方針の変更による売上高減少 446 億円 (p2, 30 参照)

(白紙)

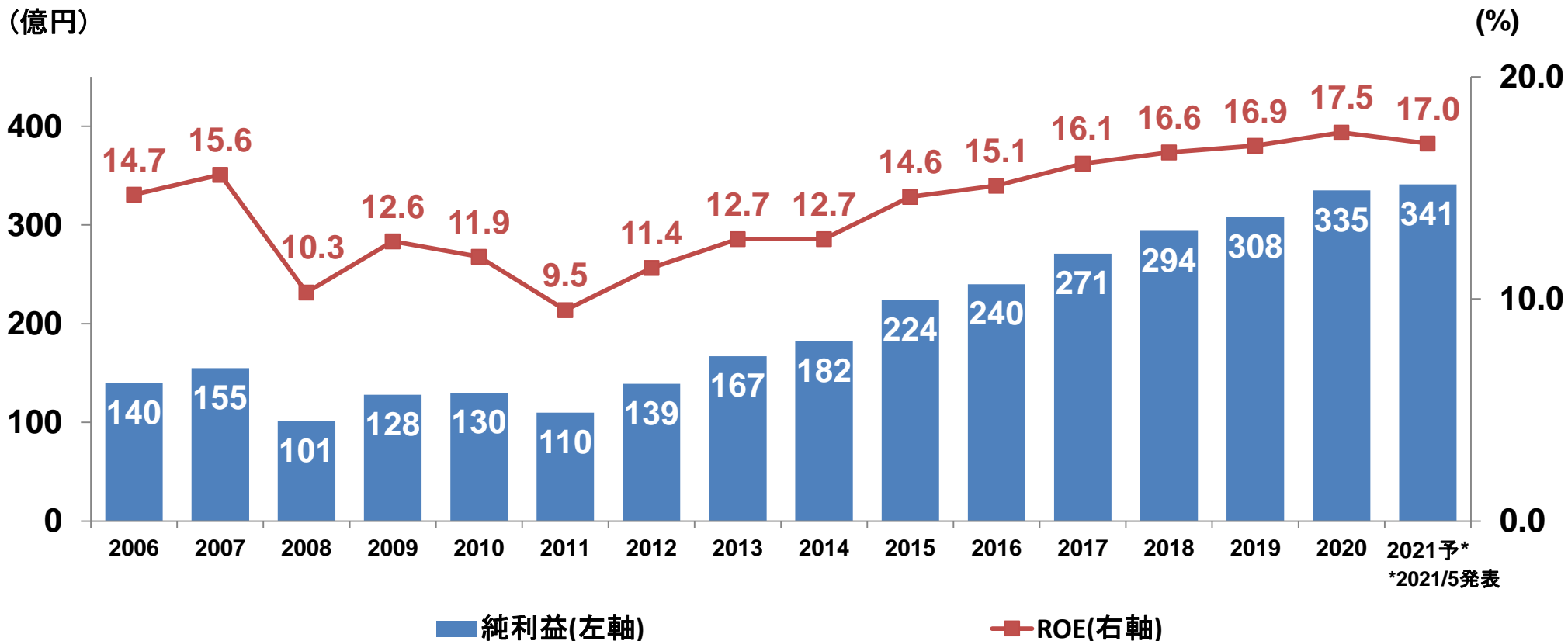
当社の特徴- (A) 売上高営業利益率

- ◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持
(2003年度以降18年連続10%以上)



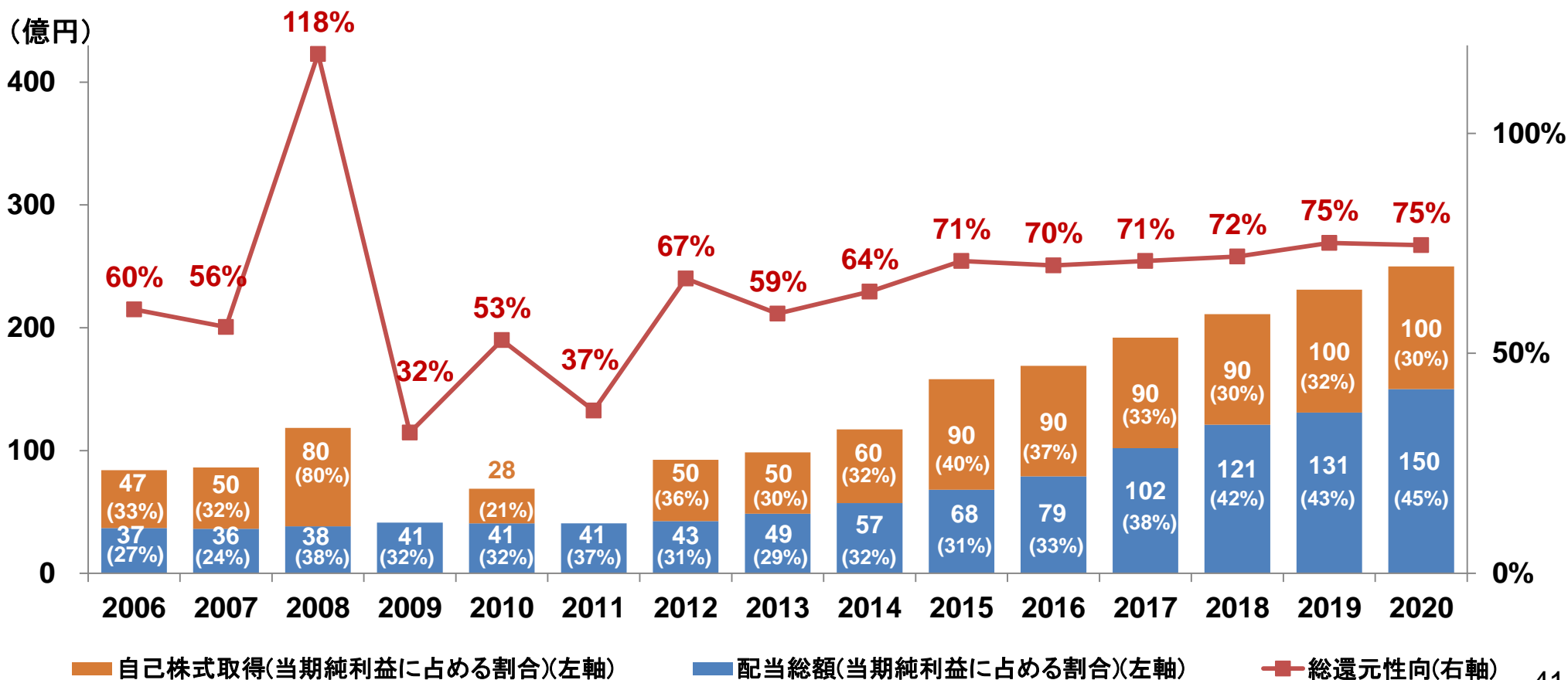
当社の特徴- (B) ROE

- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では16%以上維持が目標
- ◆ 2020年度実績は17.5%



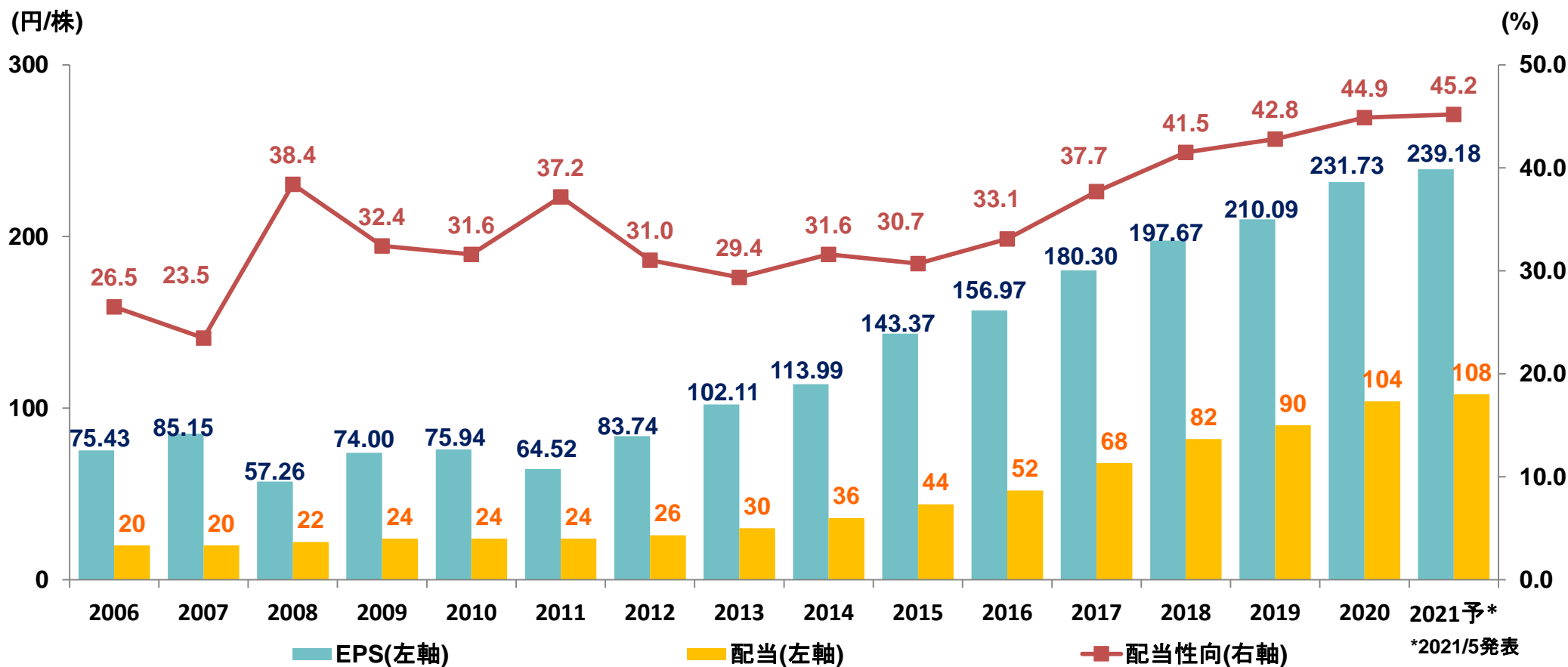
当社の特徴- (C)株主還元 (総還元性向)

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元を実施
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では、2019年度72.5%、2020年度以降75%が目標
- ◆ 2020年度実績は74.6%



当社の特徴- (D)株主還元 (配当性向)

- ◆ 2015年度30.7%から段階的に引き上げ
- ◆ 中計(2019-2021年度)では2019年度42.5%、2020年度以降45%が目標
- ◆ 2020年度実績は44.9%
- ◆ 2012年度以降2020年度まで9年連続増配



当社の特徴－(E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始、2006-20年度取得総額925億円、4,271万株(取得開始前発行済株式の22.8%)
- ◆ 2006-20年度取得株はすべて消却済

2006-2020年度 自己株式取得実績

- (1) 単元未満株式買取、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を除く
 (2) 単元未満株式、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を含む

年度	2006	2007	2008	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計
取得数(千株)(1)	3,500	3,399	7,355	2,167	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	2,138	1,829	42,715
取得価額(億円)(1)	47	50	80	28	50	50	60	90	90	90	90	100	100	925
自己株式消却数(千株)	3,000	3,635	7,000	3,000	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	3,000	1,000	42,635
発行済株式数(百万株)	185	181	174	171	165	161	158	156	154	151	149	146	145	-
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	885	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	523	1,352	-
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	53	67	59	64	71	70	71	72	75	75	-

*2009年度、2011年度は自己株式取得なし

◆ 取得

年度	2018			2019			2020			2021
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	5月17日～7月21日
自己株式取得総数(千株)(1)	976	706	1,682	1,270	868	2,138	1,334	495	1,829	1,262
取得価額総額(億円)(1)	50	40	90	60	40	100	70	30	100	70
自己株式消却総数(千株)	2,000	0	2,000	2,000	1,000	3,000	1,000	0	1,000	1,000(5月10日実行)

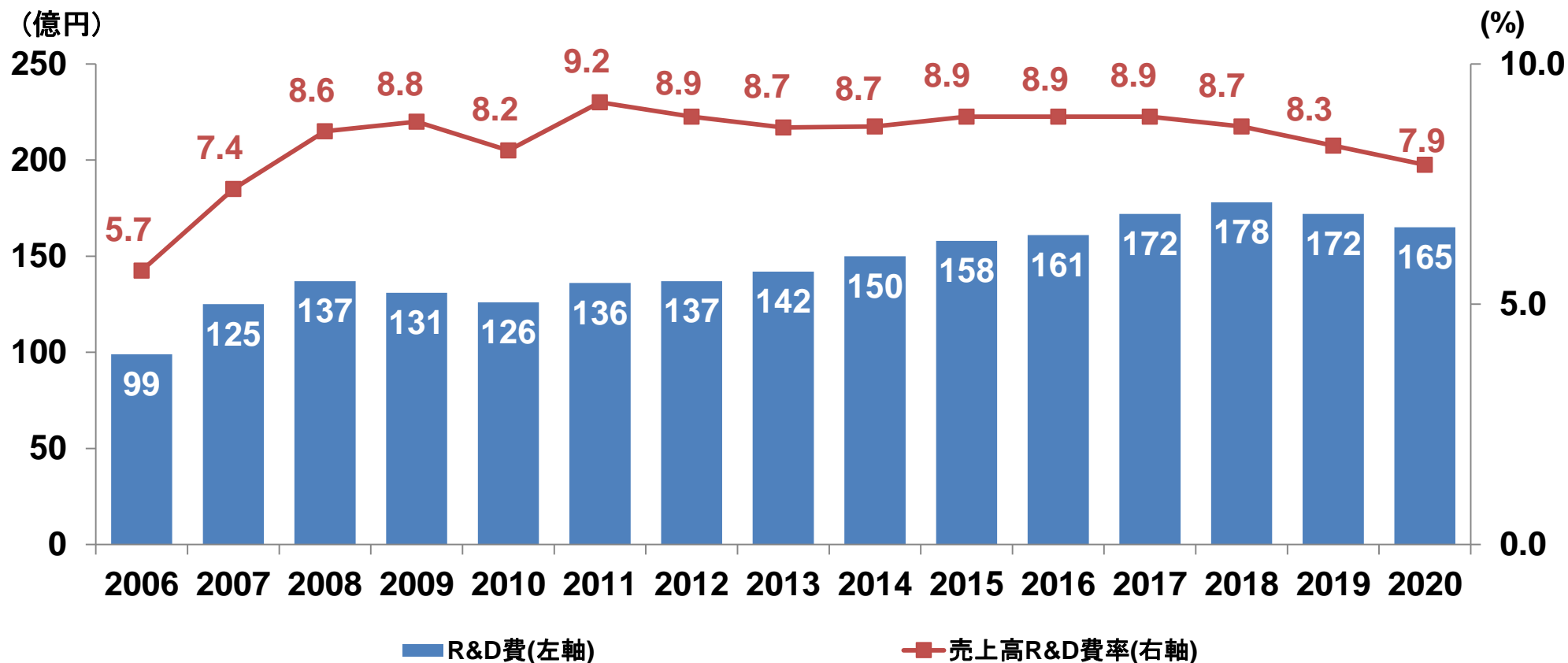
◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

目標現預金残高水準

$$= \text{必要下限額} + \text{流動性リスク対応} [1/3 \times (\text{長期借入金年間返済予定額} + \text{短期借入残})] + \text{偶発リスク対応}$$

当社の特徴- (F-1)研究開発

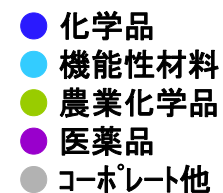
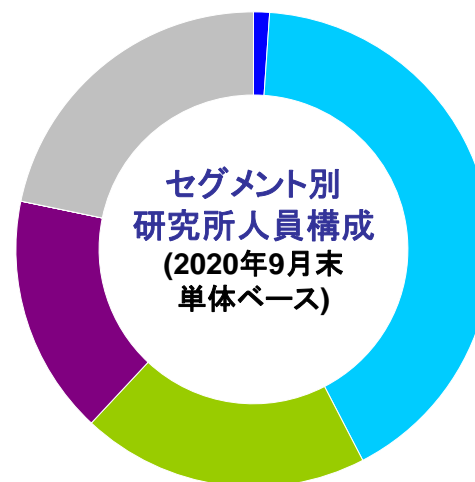
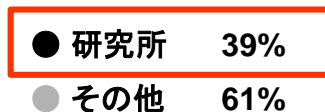
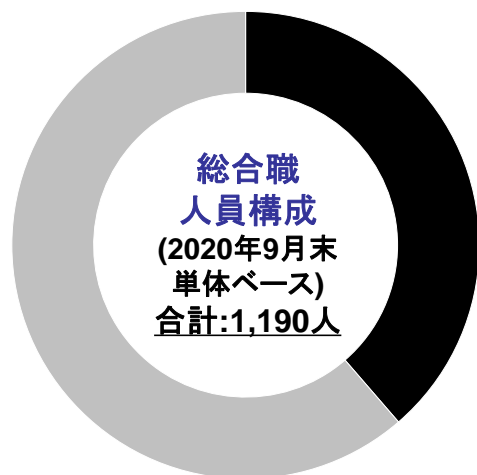
- ◆独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆総合職の約40%はR&D要員



当社の特徴- (F-2)研究開発

◆セグメント別研究開発費

セグメント	2020年度実績				
	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	319	15	4.7%	3	0.9%
機能性材料	716	224	31.3%	70	9.8%
農業化学品	638	182	28.5%	44	6.9%
医薬品	67	4	6.0%	24	35.8%
コーポレート他	-	-	-	24	-
その他共通合計	2,091	425	20.3%	165	7.9%



(白紙)

主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル テピック メラミンシアヌレート ハイライト</p> <p>◆基礎化学品 メラミン 尿素、アドフルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤 塩素化イソシアヌル酸： プール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アドフルー（ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料 サンエハー ARC®（KrF、ArF） OptiStack®（多層材料） NHC OPTIFOCUS エルソース</p> <p>◆無機コロイド スノーテックス</p> <p>オルガノゾル・モノマーゾル アルミナゾル サンコロイド セルナックス オイル&ガス材料</p>	<p>液晶配向材用ホリミド 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料（Si-HM、SOC） *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標 タッチパネル用絶縁膜 イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： 研磨材（シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等）、 特殊鋼板</p> <p>有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止 シェールオイル・ガス採掘効率向上材</p>
農業化学品	<p>◆除草剤 タルガ パーミット シリウス ラウトアップ アルテア</p> <p>◆殺虫剤 サンマイト、マイトコーネ、スターマイト グレーシア</p> <p>◆殺菌剤 ハルサー、イカルガ、グレートム （チフルサミド） ライメイ クインテック（キノキシフェン） ダイセン（マンセブ）</p> <p>◆動物薬 フルララネル</p>	<p>大豆、なたね、てんさい とうもろこし、さとうきび、米 米 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜 野菜、茶</p> <p>芝、稲、ばれいしょ</p> <p>野菜 果樹、野菜 果樹、野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬ブラベクト、鶏用ワクモ駆除剤EXZOLT原薬</p>
医薬	リハロ原薬 ファインテック	高コレステロール血症治療薬 医薬品技術開発型受託事業
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。



Nissan Chemical
CORPORATION